

Japanese Society

Hip

2022 9

日本股関節学会ニュースレター 第8号

第8回日本股関節学会 *In Yamagata* 教育研修セミナーご案内

第48回学術集会を開催して

第49回学術集会のご案内

第1回日本股関節学会 骨切りセミナー

第2回日本股関節学会 教育研修セミナー

第32回大正 Award 受賞者

股関節に関する基礎と臨床の研究を通じて
股関節学の進歩普及に貢献することを目的とする

Japanese Hip Society

日本股関節学会ニュースレター

2022/9
第8号

3	目次
5	理事長ご挨拶
6	第48回日本股関節学会学術集会報告記
8	第49回日本股関節学会学術集会
10	第1回日本股関節学会 骨切りセミナー
11	第2回日本股関節学会 教育研修セミナー (アドバンスコース)
12	第8回日本股関節学会 教育研修セミナーご案内 (ベーシックコース)
13	第3回日本股関節学会 教育研修セミナーご案内 (アドバンスコース)
14	第32回大正 Award 最優秀賞
15	第32回大正 Award 優秀賞
16	役員一覧①
19	役員一覧② 新評議員・学術評議員よりご挨拶
20	入会案内
22	編集後記



コロナ禍の先にある光明

学術集会、セミナー、Award など学会活動へのご協力ありがとうございます

皆様には、日頃から日本股関節学会の運営にあたり、多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。第8号ニュースレターの発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も3年目になり、全国の感染者数の報告は過去最高に上っています。日本股関節学会でも法人化して2年目から新型コロナウイルスの影響を大きく受けてまいりましたが、幸い学術集会は予定通り行うことができました。昨年の第48回学術集会は、川手健次先生を会長として一昨年に続きハイブリッド形式で開催されました。コロナ禍での極めて厳しい環境の中でしたが、オンラインを含め約1500名の方々にご参加いただきました。そのような状況の中で開催された川手先生をはじめ奈良県立医科大学の先生方には心より御礼申し上げます。新しく完成したばかりの奈良コンベンションセンターでは、会員の方が久しぶりの再会に喜び合う光景が見られ、現地開催の大切さを実感いたしました。また、現地とオンラインを結んでのシンポジウムも以前よりスムーズに行われ、新しい学会の形が定着してきたように思います。また、学術集会に先立ち開催された股関節学会セミナーも現地とオンラインの2つの形式で行われ、150名を超える参加をいただき、現地参加者の満足度が高く、今後も現地での開催を中心に考えていきたいと思っております。

今年度は、昨年開催できなかった学会セミナーのアドバンスコース、そして待ちに待った骨切りセミナーを開催することができました。その様子が本レターにも報告されていますので、ご一読いただければと思います。特に骨切りセミナーは、大変好評で兼氏先生の工夫により直接指導を受ける参加者に加え、前日の講義を受けて指導を見学する参加者もあり、やや密ではありましたが、多くの先生方でこのセミナーを共有できたことは大変意味深いものとなったと思っております。アドバンスコースも参加者の熱意が伝わり、この秋のセミナーに合わせて追加して開催されることになりました。来年の4月には、アドバンスコース、骨切りセミナーが予定されており、股関節鏡のカダバーセミナーも計画中ですので、今後の充実した各セミナーにご期待いただきたいと思います。昨年の大正Awardは、最優秀賞を星野弘太郎先生、優秀賞を田村理先生が受賞されております。両演題とも高い評価を受けての受賞で、本レターに質問形式での受賞コメントが掲載されておりますので、お楽しみいただければと思います。残念ながら受賞に至らなかった応募演題も大変興味あるものでしたので、今後ぜひ多くの先生方に応募していただければと思います。そのほか学会としては、日本人工関節学会と共同での英文ジャーナルの発刊に向けて準備を進めておりまして、学術集会の時にはご報告させていただきたいと思っております。

今秋、10月28日、29日には第49回の学術集会が高木理彰会長により山形県で開催されます。多くの先生方と学術集会でお会いでき、風光明媚な山形の秋を皆様で楽しめることを期待しております。今後も引き続き股関節学会への一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第48回日本股関節学会学術集会報告記

会長 川手 健次

奈良県総合リハビリテーションセンター 院長



奈良医大整形外科股関節班

このたびは第48回日本股関節学会学術集会を2021年10月22日(金)・23日(土)の2日間にわたり、奈良県で初めて開催させていただき誠にありがとうございました。昨年8月には新型コロナウイルス感染症第5波が大変な猛威をふるっており、開催形式について多いに悩みハイブリッド開催といたしました。当日は新規感染者が非常に少なくなり好天にも恵まれ多くの先生方にご参加いただきましてこの上なく幸運でございました。学会後に「久しぶりにたくさんの先生方と直にお会いできて嬉しかった」とのメールを多数いただきました。最終的な有料参加者は1465人でございました。

会場の奈良県コンベンションセンターは4月に新築オープンしたもののコロナ禍のため使用されるこ

となく股関節学会が初めての学会であったため、参加者からは綺麗な会場で気持ちよかったと称賛いただきました。

学術集会のテーマは心体光明-世界を股にかける-とさせていただきます。心体光明とは菜根譚という中国の古典に出てくる四字熟語で心と体が正しく物事を理解するという意味です。奈良は奈良時代に光明皇后が日本で初めて施薬救療活動をされた地で、コロナ禍の今この学会で知識を蓄えていただくとやがて光明が差すであろうと願いました。具体的には解剖をベースとし先生方にご講演いただきました。前理事長の久保俊一先生による「新しいリハビリテーション医学・医療の考え方」、埼玉医大名誉学長の東博彦先生による「伝えたい股関節の研究成



ご講演中の杉山理事長



ご講演中の東博彦先生

果一寛骨臼の病態を巡る研究の足取り一」、奈良県病院機構理事長の上田裕一先生による「手術の安全と質の保証」、東大寺塔頭清涼院の森本公穰先生による「東大寺1300年の歴史に学ぶーコロナの時代にー」、山口真由弁護士による特別講演、6つのシンポジウム、10のパネルディスカッション、教育研修講演、セミナー、一般演題628題などでご講演、議論していただきました。査読とオンデマンド配信の結果より、優秀演題賞は医師部門では名古屋第二赤十字病院の樋口善俊先生、リハビリ部門では名古屋整形外科人工関節クリニックの鈴木淳先生が受賞されました。

最後に股関節学を志した頃からの夢であった大変栄誉ある学会を開催させていただき、杉山理事長、

理事、評議員、会員の先生方、共催セミナー、展示、広告などにご協力いただいた関係各位、運営に尽力していただいた日本コンベンションサービス様、奈良医大整形外科同門会、股関節班員の支えに心より感謝申し上げます。



司会の進藤先生と土方先生

開催告知

第49回日本股関節学会学術集会

今秋、2022年10月28(金)・29日(土)に開催する第49回日本股関節学会学術集会について



会長 高木 理彰

山形大学医学部 整形外科科学講座 主任教授

このたび、第49回日本股関節学会学術集会を2022年10月28日(金曜日)、29日(土曜日)、山形で開催させて頂くことになりました。大変光栄に存じます。今回の学術集会では、「嚆矢濫觴(こうしらんしょう)」というテーマを掲げさせて頂きました。“嚆矢”は昔、戦を始めるときに敵陣に射たかぶら矢をさします。転じて、物事の始まりを意味します。“濫”はひたす、またはあふれるで、“觴”はさかずきです。大河も水源にまで溯れば、さかずきをやっとならぶほどのわずかな水量になるとの意から、こちら物事の始まりをあらわします。嚆矢には進取の気概に溢れ時代を切り開こうとする確かな躍動を、濫觴からは温故知新につながる肅然とした先人の英知を感じとることができるように思います。股関節学の始まりや基本を再認識し、歴史的な治療法から最先端の手術療法、保存療法、さらに治療を支える基礎医学、社会医学にも視野を広げながら、本学術集会が、様々な討論を通してさらなる高みを目指すマイルストーンになればと願っています。

超高齢社会が到来し、近年、高齢股関節疾患患者への手術対応の必要性は高くなる一方です。同時に、リハビリテーション医療や薬物療法をはじめとする様々な医

学・医療の進歩には目を見張るものがあります。遠くない将来、股関節疾患に対する医学・医療アプローチも大きく変容していくかもしれません。このような時代の流れを見据え、股関節疾患の手術治療の伝承、さらなる革新の視座を保ちながら、あわせて股関節学全体の立ち位置、方向性、存在意義を一層確かなものにする学術集会を目指したいと思います。幅広く、ベテランから中堅、そして時代を担う若手まで、それぞれ興味をもって参加して頂けるよう特別講演、教育講演、シンポジウム、ランチョンセミナー、ハンズオンセミナー、さらに市民公開型文化講演などを盛り込みながら、プログラムを企画する予定です。現地開催を目指しますが、Covid-19の状況を鑑み状況に応じてハイブリッド開催も検討しています。

10月末の山形は晩秋の静寂感につつまれたさわやかで大変良い季節です。山寺として親しまれ、蝉論争でも有名な宝珠山立石寺、修験道で知られる月山、湯殿山、羽黒山からなる出羽三山や、蔵王、飯豊、朝日連峰や鳥海山などの秀峰、さらに天童、上山、蔵王に代表される名湯や秘湯、最上川舟下り、庄内浜など名所旧跡も数多くございます。この機会にあわせて出羽国、山形を楽しんで頂ければ幸いです。大勢の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第49回 The 49th Annual Meeting of Japanese Hip Society
日本股関節学会 学術集会

嚙
矢
澄
觴

山形日和
せでけろくん

2022年10月28日(金)~29日(土)

会場 | やまぎん県民ホール (山形県総合文化芸術館)
〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-38
山形テルサ
〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3
ホテルメトロポリタン山形
〒990-0039 山形県山形市香澄町1-1-1

会長 | 高木 理彰 山形大学医学部 整形外科科学講座 主任教授

事務局 / 山形大学医学部 整形外科科学講座
〒990-9585 山形県山形市番田2-2-2
運営事務局 / 日本コンベンションセンター株式会社 東北支社
〒990-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町4-34 4金ビル6F
TEL:022-722-1311 FAX:022-722-1178
E-mail:49hip@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/49hip/>

第1回日本股関節学会 骨切りセミナー

担当理事：兼氏 歩（金沢医科大学整形外科）



2022年4月15日（金）、16日（土）に名古屋市において第1回日本股関節学会骨切りセミナーが開催された。新型コロナウイルス感染拡大により2年越しの開催となった。

今回のセミナーでは寛骨臼側として寛骨臼回転骨切り術 / 移動術を広島県立障害者リハビリテーションセンター所長 安永裕司先生と佐賀大学整形外科教授 馬渡正明先生に、大腿骨側として大腿骨頭回転骨切り術を昭和大学名誉教授 / 佐々総合病院股関節センター長 渥美 敬先生と福岡大学整形外科教授 山本卓明先生に講師をお願いした。4月15日は18時からJPタワー名古屋内にある名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライトで各講師による20分ずつの手術の実践的な内容の講義をしていただき、翌16日は名古屋市立大学整形外科様・解剖学教室様のご協力をいただき、名古屋市立大学先端医療技術イノベーションセンターにて、4体8股関節のご遺体を用いた各手術手技のトレーニングを行った。各テーブルに1名の講師、3名の実習者という非常に密にご指導いただける環境で行うことでより実践に近い研修ができていた。1クール目は各講師にデモ手術を行っていただき、2クール目はテーブル移動し実際に講師からご指導をいただき手術を行った。午後の3、4クールはグループを変更し、全ての先生が寛骨臼側、大腿骨側両方の手術を実習できた。またベッドサイド参加とは別に10名の先生は自由に見学をできる参加様式としたことで4名

の講師の先生の手技を見学できた。同じ術式であっても皮膚切開や展開方法の違いや工夫があり大変勉強になったと思われる。実習室も4体が同時にできる十分なスペースがあるだけでなく、照明の明るさ、透視2台と全員分の放射線防護服完備、電気メス、吸引が使用できるなど素晴らしい環境であった。何よりご遺体の管理状態が非常に素晴らしく、ご献体いただいた方々のご意志を尊重できるような非常に充実した実習になったと思われる。参加いただいた先生方のアンケート結果においても、見学参加も含め全員が非常に満足と回答され、無回答の1名以外、他の先生にもこのセミナーを勧めたいと回答されるなど、非常に満足度の高い有意義なセミナーになったと思われた。一方で、倫理的配慮などの問題からビデオや写真撮影などを禁止したため、それを望む意見も散見された。次回以降も同様に開催する予定である。実際に参加しないと得られにくい貴重な経験であるため、次世代を担う股関節外科医の多くのご参加を期待したい。

第2回日本股関節学会骨切りセミナーのご案内

日時：2023年4月14日（金）・15日（土）

会場：第1回と同じ

術式：CPO, SPO, 大腿骨頭回転骨切り術

講師：福島 健介先生（北里大）、原 俊彦先生（飯塚病院）、
稲葉 裕先生（横浜市大）、山本 卓明先生（福岡大）

第2回日本股関節学会 教育研修セミナー（アドバンスコース）

日本股関節学会
ニュースレター

担当理事：上島 圭一郎（がくさい病院）・加谷 光規（加谷整形外科スポーツクリニック）

コロナ感染症の影響を受けて2年続けて開催を延期していた第2回日本股関節学会教育セミナー（アドバンスコース）を2022年4月17日に京都市（オークラホテル京都）で開催いたしました。アドバンスコースは関節鏡コースとエコーコースの2コースがあり、午前中に座学講習、午後から実技講習を実施しました。

セミナー当日はコロナ感染状況の影響により若干名のキャンセルがありましたが、関節鏡コース20名、エコーコース31名の先生方に全国から参加していただきました。

座学講師、実技インストラクターとして全国から多くの先生方にもご協力を頂き、大変盛況な中、参加された先生方も大変熱心に講習に取り組んでおられました。

関節鏡コースはdry modelを使用した講習でしたが、股関節鏡の基礎から細かなテクニック関するところまで講師の先生方が丁寧に指導されていました。アドバンスコースの受講は関節鏡技術認定の申請の際に必須となっていますので、受講希望者も多く、受講申し込み開始か

ら間もなく予定参加枠が埋まるような状況でした。

エコーコースでは、受講者の先生方に互いに被検者役になって頂き、講師の先生方から股関節と周囲組織の描出法、使用機種や使用プローブによって得られる画像の違いなど学んでいただけたと思います。また、両コースとも同一会場で実技講習を行いましたので、それぞれのコースを選択された先生方も空いた時間で他のコースの様子も見学することはできかと思えます。

こうした実技講習をできるだけ多く開催して、関節鏡やエコーの利用に対する垣根を低くし、正確な知識や技術が広まることで学会員の皆さまの臨床における診断・治療技術の向上に繋がることを願っています。

最後にセミナー開催に多大なご協力頂いた講師の先生方、関連企業の皆さまにこの場を借りて御礼を申し上げます。第3回も2023年4月に京都で開催予定にしています。内容も少しずつ見直ししながら、開催していきたいと思っております。学会員の皆さまのご参加をお待ちしています。

9:00	開会のあいさつ	杉山 肇（日本股関節学会 理事長）
9:05～10:00	共通講義 座長：上島 圭一郎	
	1) エコー、股関節鏡に共通した股関節の病態学	大原 英嗣（市立ひらかた病院）
	2) エコー、股関節鏡に共通した股関節の解剖学	星野 裕信（浜松医科大学）
10:10～12:40	分野別講義 エコー 座長：加谷 光規	
10:10～10:40	エコーによる股関節の描出法	木島 泰明（秋田大学）
10:40～11:10	股関節病の診断におけるエコーの展望	山崎 琢磨（呉医療センター）
11:10～11:40	股関節病の治療におけるエコーの展望	錦野 匠一（錦野クリニック）
11:40～12:10	エコーガイド下股関節内注射の基本手技	加谷 光規（加谷整形外科スポーツクリニック）
	股関節鏡 座長：内山 勝文	
10:10～10:40	股関節鏡下手術の手術適応	内田 宗志（産業医科大学若松病院）
10:40～11:10	股関節鏡FAI手術の手術手技	藤井 英紀（東京慈恵会医科大学）
11:10～11:40	アスリート股関節障害への股関節鏡手術のポイント	山藤 崇（アントラーススポーツクリニック）
11:40～12:10	股関節鏡手術最新のテクノロジー	小林 直実（横浜市立大学市民総合医療センター）
13:00～14:15	実技講習1	
14:30～15:45	実技講習2	

股関節鏡インストラクター

小林 直実（横浜市立大学市民総合医療センター）・宇都宮 啓（東京スポーツ＆整形外科クリニック）・橋本 慎吾（はしもと整形外科リハビリテーションクリニック）・藤井 英紀（東京慈恵会医大）

エコーインストラクター

山崎 琢磨（呉医療センター）・崔 賢民（横浜市立大学 整形外科）・錦野 匠一（錦野クリニック）・福島 健介（北里大学）



第8回日本股関節学会 教育研修セミナーご案内 (ベーシックコース)

股関節の専門医を目指す若い医師の育成を目的に教育研修セミナーを企画することといたしました。

股関節の外傷や疾患は、小児から高齢者に至るまで幅広く、また、様々な全身疾患や障害とも関係しております。股関節の専門医として適切に診断と治療を行うためには、股関節に関する基礎科学から手術まで幅広い知識が求められます。

本セミナーを通して、多くの若い医師が、これらの専門的な知識を習得して、これからの股関節学会を担ってもらうことを期待しております。

日 時：2022年10月27日（木曜日） 10：25～15：05

会 場：山形テルサ
(〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3)

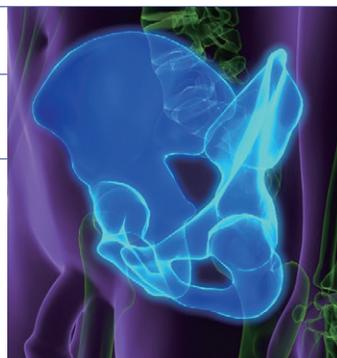
参加費：10,000円

参加数：150名

単 位：日本整形外科学会教育研修単位が認められております。

各セッション1単位、受講単位は1日4単位まで取得可能です。

受講料1単位1,000円



参加方法：第49回日本股関節学会学術集会ページより参加登録してください。

<https://site2.convention.co.jp/49hip/>

プログラム

10:25～10:30	開会挨拶 理事長挨拶	高木 理彰（教育研修セミナー 担当理事） 杉山 肇（日本股関節学会 理事長）
10:30～11:30	I 基礎 モデレーター 中村 琢哉	
	1) 手術に役立つ股関節の解剖	石田 雅史（京都府立医科大学）
	2) 日常遭遇する股関節疾患の外來診療	上島 圭一郎（がくさい病院）
11:30～11:40	休憩	
11:40～12:40	II 股関節のバイオメカニクスと運動療法 モデレーター 兼氏 歩	
	1) 保存&観血療法に役立つ股関節バイオメカニクス	濱井 敏（九州大学）
	2) 股関節疾患の運動療法と理論	宇都宮 啓（東京スポーツ&整形外科クリニック）
12:40～12:50	休憩	
12:50～13:50	III 小児股関節 モデレーター 佐々木 幹	
	1) 小児股関節周囲の外傷	上田 泰久（埼玉医科大学）
	2) 小児における股関節炎の鑑別診断と治療	坂本 優子（順天堂大学医学部附属練馬病院）
13:50～14:00	休憩	
14:00～15:00	IV 手術 モデレーター 高尾 正樹	
	1) 軟部組織温存人工骨頭挿入術	中村 琢哉（富山県立中央病院）
	2) ロボット手術：できること・できないこと、そして未来	稲葉 裕（横浜市立大学）
15:00～15:05	閉会挨拶	杉山 肇（日本股関節学会 理事長）

第3回日本股関節学会 教育研修セミナーご案内 (アドバンスコース)

日本股関節学会
ニュースレター

日時：2022年10月27日（木曜日） 11:00～15:00

会場：山形テルサ
（〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3）

定員：股関節コース10名 エコーコース20名
※上記コースは重複して受講はできません。いずれかのコースをお選びください。



参加費：各コース 20,000円

参加資格：●日本股関節学会 正会員

- 本会主催の教育研修セミナー（ベーシックコース）の受講を修了していること。

※上記コースは重複して受講はできません。いずれかのコースをお選びください。

参加方法：第49回日本股関節学会学術集会ページより参加登録してください。

<https://site2.convention.co.jp/49hip/>

プログラム

11:00～11:10	開会挨拶 理事長挨拶	高木 理彰（教育研修セミナー 担当理事） 杉山 肇（日本股関節学会 理事長）
11:10～12:30	I 共通講義 モデレーター 加谷 光規 （加谷整形外科スポーツクリニック） 1) 股関節鏡手術の基本手技と手術適応 2) 股関節疾患における超音波エコー～基本手技と臨床応用	小林 直実（横浜市立大学市民総合医療センター） 福島 健介（北里大学）
12:30～13:00	休憩	
13:00～13:50	II 実技（第1部）	
13:50～14:00	休憩	
14:00～14:50	III 実技（第2部） 実技インストラクター ●股関節鏡コース 股関節鏡1 小林 直実（横浜市立大学市民総合医療センター） 股関節鏡2 宇都宮 啓（東京スポーツ&整形外科クリニック） ●エコーコース エコー1 福島 健介（北里大学） エコー2 崔 賢民（横浜市立大学） エコー3 錦野 匠一（錦野クリニック）	
14:50～14:55	閉会挨拶	杉山 肇（日本股関節学会 理事長） 上島 圭一郎（がくさい病院）





第32回大正 Award 最優秀賞・優秀賞

第48回日本股関節学会総会において表彰式が執り行われました。



星野 弘太郎

医療法人慈誠会山根病院
小児整形外科医

- Q1 : 受賞した研究活動について教えてください。
- Q2 : 受賞後の感想をお聞かせください。
- Q3 : 周囲の皆様の喜びの声、反応などについて教えてください。
- Q4 : 受賞をきっかけにご自身に何か変化がありましたか？
- Q5 : 今後の展望についてお聞かせください。

最優秀賞

論文名：「超音波診断を利用した学童寛骨臼形成不全スクリーニングの試み」



超音波検査により小学生における寛骨臼形成不全をスクリーニング検診いたしました。573名に行い8.6%に寛骨臼形成不全を認めました。これまでわかっていなかった学童期にも寛骨臼形成不全が比較的多く潜在していることがわかりました。



全く予想していなかったもので、腰が抜けるほど驚きました。一地方病院で臨床の傍らコツコツ独りで重ねてきた研究でしたので、とても嬉しく思いました。ご理解のうえご協力いただいた小学校関係者の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。



小児整形外科領域の仲間たちや同門の先生方が祝福してくれとてもうれしかったです。また二人の娘からもお褒めの言葉をいただきました（笑）。



小学生で寛骨臼形成不全が判明した児童が成人の寛骨臼形成不全となるのかのフォローをしっかりやらねばとあらためて決意いたしました。



寛骨臼形成不全は海外と比較しても飛び抜けて高い日本人病ともいえるでしょう。ですから検診対象疾患となれば有意義と思っています。また寛骨臼形成不全は若年期には症状がほとんどなく、症状が相当ひどく進行してからの受診が多いことから、本法により早期にスクリーニングがなされれば、発症予防にむけたアプローチも可能となり、THA例が減少してくれるかもしれません。



田村 理

大阪急性期・総合医療センター
整形外科 副部長

- Q1 : 受賞した研究活動について教えてください。
- Q2 : 受賞後の感想をお聞かせください。
- Q3 : 周囲の皆様の喜びの声、反応などについて教えてください。
- Q4 : 受賞をきっかけにご自身に何か変化がありましたか？
- Q5 : 今後の展望についてお聞かせください。

優秀賞

論文名：「セメントレス人工股関節全置換術における
術中カップ周囲骨折のリスク因子と臨床成績」



人工股関節全置換術時のセメントレスカップ周囲骨折の頻度とその術前リスク因子、臨床経過を解析しました。



大変栄誉のある賞をいただくことができ、嬉しく思います。学会関連の先生方、ご指導いただきました先生方に深く御礼申し上げます。

基礎研究ではなく、臨床データの解析で受賞できるとは思ってもおらず、非常に驚いたのと同時に、多くの症例をこつこつ解析することの大切さを感じました。



当院の先生方、阪大股関節クリニックの先生からも祝福をいただきました。

盾と賞状を持って帰ると、家族も大変喜んでくれました。



受賞後もおごることなく、今まで通り、こつこつと研究活動を続けるのみと思っています。



臨床現場での疑問点を解析し、世の中の役に立つ情報を発信しつづけたと思っています。

「地道に、粘り強く」をモットーに、今後も臨床研究活動を行っていく所存です。

よろしく願いいたします。

日本股関節学会役員一覧①

日本股関節学会役員をご紹介します。

役職	氏名	所属・職名
理事長	杉山 肇	神奈川県リハビリテーション病院 院長
副理事長	菅野 伸彦	大阪大学大学院運動器医工学治療学寄附講座 教授
	山本 謙吾	東京医科大学整形外科 教授
理事	伊藤 浩	旭川医科大学整形外科学講座 教授
	稲葉 裕	横浜市立大学大学院医学研究科運動器病態学（整形外科） 教授
	上島 圭一郎	京都地域医療学際研究所がくさい病院 院長
	大川 孝浩	久留米大学医療センター 院長
	兼氏 歩	金沢医科大学整形外科学講座 教授
	川手 健次	奈良県総合リハビリテーションセンター 院長
	坂井 孝司	山口大学大学院医学系研究科整形外科 教授
	神野 哲也	獨協医科大学埼玉医療センター整形外科 教授
	浜藤 啓広	三重大学医学部整形外科学教室 教授
	高木 理彰	山形大学医学部整形外科学講座 教授
	高平 尚伸	北里大学大学院医療系研究科整形外科学 教授
	帖佐 悦男	宮崎大学医学部整形外科 教授
	中島 康晴	九州大学医学部整形外科学教室 教授
	中村 琢哉	富山県立中央病院整形外科 部長
	馬渡 正明	佐賀大学医学部整形外科学教室 教授
	三谷 茂	川崎医科大学骨・関節整形外科学 教授
	山本 卓明	福岡大学医学部整形外科学教室 教授
監事	久保 俊一	京都中央看護保健大学校 学校長
	安永 裕司	広島県立障害者リハビリテーションセンター 所長
	山田 治基	日進おりど病院整形外科 顧問
学術理事	内田 宗志	産業医科大学若松病院整形外科 診療教授
	加畑 多文	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科整形外科 准教授
	加谷 光規	加谷整形外科スポーツクリニック 院長
	斎藤 充	東京慈恵会医科大学整形外科学講座 教授
	高尾 正樹	愛媛大学大学院医学系研究科整形外科学 教授

名誉会員

東 博彦
飯田 寛和
石井 良章
糸満 盛憲
井村 慎一
岩田 久
遠藤 直人
小宮 節郎
進藤 裕幸
高岡 邦夫
田中 清介
鳥巢 岳彦
内藤 正俊
浜田 良機
稗田 寛
船山 完一
松永 隆信
松野 丈夫
松本 忠美
宮岡 英世

評議員

青田 恵郎	岡野 邦彦	坂井 孝司	中田 活也	松峯 昭彦
秋山 治彦	岡野 徹	坂本 武郎	中原 一郎	馬庭 壯吉
阿久津 みわ	岡上 裕介	佐々木 幹	中村 琢哉	丸山 正昭
浅海 浩二	尾崎 敏文	佐藤 貴久	中村 健	馬渡 正明
阿部 功	尾崎 誠	穴戸 孝明	中村 宣雄	三浦 陽子
安保 雅博	加来 信広	島 直子	中村 正則	三木 秀宣
安藤 涉	柘原 俊久	神野 哲也	中村 吉秀	三島 初
飯田 哲	片山 直行	菅野 伸彦	中村 嘉宏	三谷 茂
伊賀 敏朗	金治 有彦	杉山 肇	名越 智	宮坂 大
池内 昌彦	兼氏 歩	須藤 啓広	西井 孝	宮武 和正
池村 聡	加畑 多文	瀬川 裕子	西田 圭一郎	宮西 圭太
石堂 康弘	加谷 光規	関 泰輔	西野 衆文	宮本 健史
石橋 恭之	苅田 達郎	高尾 正樹	西山 隆之	宗像 裕太郎
市堰 徹	川崎 雅史	高木 理彰	萩原 茂生	宗本 充
伊藤 浩	川手 健次	高窪 祐弥	長谷川 正裕	最上 敦彦
伊藤 芳毅	河野 俊介	高橋 大介	蜂谷 裕道	本村 悟朗
稲葉 裕	河原 郁生	高平 尚伸	馬場 智規	森島 達観
今井 晋二	河村 春生	武石 浩之	原 俊彦	森田 充浩
今井 教雄	木島 泰明	立岩 俊之	原田 義忠	森田 裕司
今釜 崇	北川 由佳	田中 歩	兵頭 晃	諸橋 達
岩崎 倫政	木下 浩一	田中 栄	平川 和男	山崎 琢磨
岩瀬 敏樹	桑沢 綾乃	田中 隆治	福島 健介	山田 晋
岩田 憲	古賀 大介	谷口 隆哉	藤井 英紀	山村 在慶
上島 圭一郎	小久保 安朗	谷野 弘昌	藤井 政徳	山本 謙吾
内田 宗志	小助川 維摩	種市 洋	藤岡 幹浩	山本 卓明
内山 勝文	後藤 毅	筑田 博隆	藤田 裕	山本 豪明
江川 洋史	後東 知宏	帖佐 悦男	藤原 勇輝	山本 泰宏
梶 賢一	後藤 昌子	土屋 弘行	星野 裕信	脇阪 敦彦
大川 孝浩	小林 千益	出家 正隆	堀内 忠一	渡邊 弘之
大谷 卓也	小林 直実	土井田 稔	前澤 克彦	渡會 恵介
大橋 弘嗣	齊藤 正純	徳永 邦彦	前田 ゆき	
大原 英嗣	斎藤 充	富沢 一生	間島 直彦	
大山 正瑞	西良 浩一	中島 康晴	松下 功	
大湾 一郎	三枝 康宏	仲宗根 哲	松田 秀一	

学術評議員

青木 清
石田 雅史
伊藤 重治
内原 好信
大鶴 任彦
大橋 寛憲
楯野 良知
鎌田 浩史
後藤 公志
坂本 哲哉
山藤 崇
庄司 剛士
瀬戸口 啓夫
園畑 素樹
高田 亮平
田中 健之
崔 賢民
千葉 大介
中村 順一
西脇 徹
橋本 慎吾
林 申也
羽山 哲生
藤原 憲太
箕田 行秀
三村 朋大
渡邊 宣之

日本股関節学会役員一覧②

日本股関節学会
ニュースレター

新評議員・学術評議員よりご挨拶 新たに就任した評議員・学術評議員から会員の皆様へのメッセージです。

池村 聡 (いけむら さとし)	正規所属名称・肩書	福岡赤十字病院整形外科・関節整形外科 部長
	専門分野	股関節外科、大腿骨頭壊死症
	抱負	この度、伝統ある本学会の評議員に選出頂き大変光栄に存じております。日本股関節学会の更なる発展に少しでも貢献できるよう努めて参ります。
岡上 裕介 (おかのうえ ゆうすけ)	正規所属名称・肩書	高知大学医学部整形外科 講師
	専門分野	股関節外科、関節リウマチ、スポーツ整形外科
	抱負	私は、本学会の海外研修制度の一期生としてベルン大学に留学させていただき、その後も本学会を通じて、様々な研鑽を積ませて頂きました。このご恩に報いるべく、学会発展のために尽くしたいと思います。ご指導の程よろしく申し上げます。
木島 泰明 (きじま ひろあき)	正規所属名称・肩書	秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座 助教
	専門分野	股関節外科、人工関節、スポーツ障害
	抱負	この度、伝統ある本学会の評議員を拝命し大変光栄に存じております。改めて責任の重さを痛感するとともに、微力ながら本学会の発展のために、また一人でも多くの股関節疾患で悩む方に貢献できるよう尽くして参ります。
後東 知宏 (ごとう ともひろ)	正規所属名称・肩書	徳島大学病院クリニカルアナトミー教育研究センター 特任准教授
	専門分野	股関節外科
	抱負	この度、伝統ある本学会の評議員にご推挙いただき誠に光栄に存じます。日本股関節外科学会を一層盛り上げ、股関節疾患に対する診断・治療の発展に貢献できるように頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。
田中 隆治 (たなか りゅうじ)	正規所属名称・肩書	中電病院整形外科 副部長
	専門分野	股関節外科大腿骨頭壊死症
	抱負	伝統ある本学会の評議員にご選出いただき、大変光栄に存じます。更に情熱を持って、股関節の診療に向かう所存でございます。本学会の発展に少しでも貢献できるよう微力ながら努力して参ります。よろしくご指導の程お願い申し上げます。
富沢 一生 (とみざわ かずお)	正規所属名称・肩書	獨協医科大学医学部整形外科学教室 講師
	専門分野	股関節外科・関節リウマチ
	抱負	この度、伝統ある日本股関節学会の評議員に選任いただき大変光栄に存じます。本学会の発展に寄与できるよう精一杯努める所存ですので、引き続きご指導の程よろしく申し上げます。
宮坂 大 (みやさか だい)	正規所属名称・肩書	新潟万代病院 関節再建センター センター長
	専門分野	股関節外科
	抱負	伝統ある日本股関節学会の評議員にご選出頂きありがとうございます。微力ながら本学会の発展のために尽くして参ります。ご指導ご鞭撻の程をよろしく申し上げます。
宗像 裕太郎 (むなかつ ゆうたろう)	正規所属名称・肩書	東京女子医科大学整形外科 講師
	専門分野	人工股関節、Minimally Invasive Surgery、Short stem、再置換
	抱負	Short stemを用いたMinimally Invasive Surgeryの可能性を追求しつつ、ステム周囲骨折や反復脱臼といった増加傾向の合併症に対する再置換を研究していきたいと思っております。何卒よろしく申し上げます。
諸橋 達 (もろはし いたる)	正規所属名称・肩書	順天堂大学医学部附属静岡病院整形外科 准教授
	専門分野	股関節外科 足の外科 骨折治療
	抱負	このたびは伝統ある学会の評議員に任命頂き、大変光栄に存じます。特に静岡県における本学会の発展に、また他領域との橋渡し役としても微力ながら貢献できるよう精進いたします。今後ともご指導の程よろしく申し上げます。
渡邊 弘之 (わたなべ ひろゆき)	正規所属名称・肩書	熊本市立熊本市市民病院整形外科 部長
	専門分野	股関節外科、寛骨臼骨切り術
	抱負	この度評議員に就任させて頂き大変光栄です。これまで学術集会や先日おこなわれました第1回骨切りセミナーなど、本学会でたくさんのご縁を頂きました。微力ですが、本学会の益々の発展に尽力したいと存じます。
内原 好信 (うちばら よしのぶ)	正規所属名称・肩書	奈良県立医科大学整形外科 学内講師
	専門分野	股関節外科
	抱負	この度、日本股関節学会の学術評議員を拝命いたしました。本学会の発展に少しでも貢献できるように、微力ながら尽力させて頂く所存です。今後ともご指導の程、どうぞよろしく申し上げます。

入会案内

日本股関節学会
ニュースレター

■ 会員の資格

正会員	医師
準会員	医師以外（理学療法士 作業療法士 診療放射線技師 看護師など）
賛助会員	本学会の事業を援助する個人・団体
臨時会員	医師以外（学術集会におけるリハビリテーション・看護部門の共同演者および Hip Joint Suppl. における論文共著者）

■ 会費

正会員	医師 10,000 円
準会員	医師以外 5,000 円
賛助会員	本学会の事業を援助する個人・団体 50,000 円
臨時会員	医師以外（学術集会におけるリハビリテーション・看護部門の共同演者および Hip Joint Suppl. における論文共著者） 入会当該年度 のみの登録 5,000 円

入会手続き



ご入会を希望される方は、ホームページよりオンラインによる入会申し込み、もしくは申込書をダウンロードし、所要箇所をご記入の上、FAX もしくは郵送にてお申し込みください。

1. オンラインによる登録

学会ホームページ「入会のご案内」より所要事項を入力の上、入力内容を確認画面で確認してから送信してください。
登録フォームに入力されたメールアドレスに登録受付メールが届きますので、メール本文に記載されている年会費を指定口座にお振り込みください。

2. 入会申込書の記入について

- 入会申込書はすべてデータベースに登録しますので楷書ではっきり記入してください。
- 所属機関の名称は原則として、大学の場合には学部・学科まで、会社等の場合には部・課までを記入してください。
- 連絡先は会費請求書等の送付先になりますので、所属機関、自宅住所のうち、該当するものを選択してください。
- 準会員での入会の場合は、可能な限り正会員 1 名の推薦をお願いしております。
- 推薦者がいる場合は、所定欄に推薦者名をご記入ください。
- 臨時会員の入会は、当該年度のみ登録となります。
例：第49回学術集会（リハビリテーション・看護部門）で発表し、Hip Joint 第49巻に投稿の場合、当該年度（2022年度：2022年9月1日～2023年8月31日）のみ登録となります。
- 本会の会計年度は、9月1日～翌年8月31日です。
- 記載された個人情報は本学会の運営業務のみに使用します。

3. 会費の送金方法について

入会申込書をご返送していただいたから、1ヵ月以内に会費請求書（払込用紙）を発行いたしますので、最寄りの郵便局よりお振り込みください。

4. 入会申込書

正会員・準会員・臨時会員 ▶ HPよりPDFダウンロード
賛助会員 ▶ HPよりPDFダウンロード

5. 自動振込申込について

自動振込をご希望の方は、以下の用紙をダウンロードしてください。所要事項をご記入いただくとともに金融機関届出印を押印の上、下記申込先まで郵送してください。
* 入会初年度は、年会費請求書（払込用紙）にて送金手続きをお願いします。自動振込の取扱いは次年度からの適用となります。
* 届出印相違により、自動振込申請ができない場合がありますので、預金口座に使用している届出印をご確認ください。
自動振込用紙 ▶ HPよりダウンロード

申込先：日本股関節学会 会員係

〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内
TEL ▶ 03-6267-4550 FAX ▶ 03-6267-4555
E-Mail ▶ jhs@mynavi.jp
URL ▶ <http://hip-society.jp/>

Japanese Hip Society 日本股関節学会ニュースレター

Hip

2022/9 第8号

編集後記

感染者数ではこれまでで最大規模の新型コロナウイルス感染症第7波のなか、日本股関節学会ニュースレター第8号を編集いたしました。前号も第5波による緊急事態宣言下に編集したことを思い出します。当初はここまで長期化するとは思っておりませんでした。早く季節性インフルエンザ程度の感染症に落ち着くことを祈念します。

昨年10月に奈良県コンベンションセンターで開催された第48回学術集会について、川手健次会長から報告いただきました。前回に引き続きハイブリッド形式でしたが、「心体光明」を目指し、「世界を股にかける」べく、1500名近い参加がありました。学会を成功裏に終えられたこと、誠にありがとうございます。第49回学術集会は、高木理彰会長が現地開催を目指して準備されています。ホームページを見ますと、公募演題登録締切後でも「Late-Breaking Abstracts」を受け付けるといった新たな試みもなされているようです。近年のコロナ禍もあり、本学会の会員・準会員数はやや伸び悩んでいますが、多職種にとって魅力あるシンポ・パネルが組まれていますので、多くの会員が、未入会の方々も含めお誘いあわせの上、積極的に参加されることを期待します。

技術の継承は本学会の重要なテーマですが、ついに第1回骨切りセミナーが開催されました。定員を超える多くの応募があり、兼任担当理事や講師の先生方をはじめとする関係各位のご尽力によりこちらも大変好評のうちに終了しました。私も見学させていただきましたが、各講師の考え方や工夫などもよくわかる貴重な機会でした。すでに回を重ねている教育研修セミナー（スタンダードコース、アドバンスコース）とともに、第2回骨切りセミナーもどうぞご期待ください。

第32回大正 Award 受賞者からは喜びの声を寄せていただきました。『Hip Joint』への投稿論文のうち応募のあった10数編の論文の中から厳正な審査を経て選ばれた、荣誉ある賞です。受賞された先生方のさらなるご活躍を祈念します。

今回のニュースレターからもわかりますように、日本股関節学会ではコロナ禍の中でも新たな事業も含め精力的に活動を行っています。ニュースレターでも有用な情報をお伝えしていきたいと思えます。ご意見やご要望をお寄せいただければ幸いです。

(担当理事 神野 哲也)

日本股関節学会ニュースレター第8号 2022年9月号

発行元・お問い合わせ先

一般社団法人**日本股関節学会事務局**

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

E-Mail : jhs@mynavi.jp

URL:<http://hip-society.jp>